

TOKYO
商工連

とうきょう商工連プラザ
Plaza

2022

9

vol.367

商工会は 行きます

聞きます 提案します

CONTENTS

②~③

コロナウイルス感染拡大、ウクライナ情勢、為替変動、原油・燃料高騰
多摩・島しょ地域の小規模企業に影響を聞く

④ 村越政雄東京都商工会名誉会長と篠原ひろし氏が「旭日小綬章」同時受章で、「感謝の集い」を開催

・多摩地域商工会エリアの景況(令和4年度第1・四半期)

⑤ イベントガイド

・女性部 リーダー研修会in三宅島/関東ブロック女性部交流研修会・主張発表大会in河口湖/青年部 青年経営者の主張大会
「多摩・島しょ 酒蔵ステーション 2022」を開催 都商工連・地域振興課

⑥ <連載>「多摩おこし・島おこし」(貯水池 鳥山/東大和市商工会)

⑦ <連載>「商店街の繁盛店」(しまとあお/大島町商工会)

⑧ <連載>「わが社の経営革新計画」(フィールドプロ/東村山市商工会)

コロナ以前の日常に
そのまま戻るとは思えない
なにか方策を考えないといけない

いろいろ焼き 貯水池 鳥山

三代目店主 小嶋 一晃氏

関連記事:P6「多摩おこし・島おこし」

今後については、さらなる価格高騰が続くと見る意見が多く、「今後の見通しが立たない」、「簡単には価格転嫁できず利益が圧迫される」、「適正な価格転嫁を行いたいが、それを上回るスピードで価格が高騰している」など、対応の難しさや不安を抱える意見が多数を占めました。

■「原材料・部品等の調達難」が今後の事業活動を不透明化

○調達難が発生しているもの

給湯器、トイレ、ユニットバス、車両、エコキュート、照明器具、クロス、コンパネ、ベニヤ、足場パイプ、接着剤、電子部品、木材、梱包材、工具、エアコン、洗濯機、冷蔵庫、テレビ、電話、魚介、野菜、ワイン、冷凍食材、珈琲豆、テープ類、パラジウム、パソコンなど

○現在の影響

- ・建材の品不足により工期の延長や遅延が生じており、予定が立てられない(建設業)。
- ・部品が入らないため、数少ない受注にも応じることができない(製造業)。
- ・代替品の対応や調整で今までにない業務が増えている(製造業)。
- ・在庫を増やして対応しているが、その分の費用負担が厳しい(製造業)。
- ・顧客から注文を受けても仕入できない場合があり、売上が立たない(小売業)。
- ・輸入食材が価格上昇とともに調達が難しくなっている(飲食業)。
- ・間接的であるが、券売機が故障した際に部品がすぐに入らなかった(飲食業)。

○今後の見通し

- ・前倒しで資材を調達しないと確保できないが、大量仕入は維持管理の面で難しい(建設業)。
- ・見通しに予想がつかず、他国からの調達も検討したいが輸送コスト増になる(製造業)。
- ・問屋から仕入する以外に方法がない(小売業)。
- ・国内産で代用できないメニューは、今後提供を中止せざるを得ない(飲食業)。

価格高騰に加え、原材料等の調達が難しい状況も大きな影響としています。「資材が入らないため予定が立てられない」、「数少ない受注にも応じることができない」など、今後の事業活動が不透明な状況にあるという、厳しい実態を指摘する意見もありました。

また「代替品を探すことや調整するための業務が増えている」、「前倒しで資材を調達しないと確保できないが維持管理面で難しい」、「在庫を増やして対応しているがその分の費用負担が厳しい」など、経営資源が乏しい小規模企業における対応の難しさが浮き彫りになりました。

■多様な人材の不足が深刻化

○不足している人材

職人(建設業)/技術者、デジタル対応人材(製造業)/学生アルバイト(小売業、サービス業)

○現在の影響

- ・職人の高齢化による引退や若者の現場離れによる職人不足(建設業)。
- ・人手不足により派遣や外注を活用しているが、人件費単価が高騰している(建設業)。
- ・価格転嫁できない中で、短納期で対応するため外注比率が高くなっている(建設業)。
- ・毎年上がる最低賃金に比例できない売上が続いている(製造業)。
- ・扶養内での働き方をしているパートタイムの件数単価が上がり、働く時間が減る(製造業)。
- ・コロナ禍での休業時にシフト減を行ったことでアルバイトが戻ってこない(飲食業)。
- ・人材確保のために福利厚生等を厚遇したいが、最低賃金の上昇もあり負担が大きい(小売業)。
- ・求人募集しても集まらないため、求人広告の費用がかさむ(全業種)。

原価や経費負担が大きくなっている中で、以前から抱えてきた慢性的な人手不足や人件費負担の増加に対しても1/3を超える事業者が問題視しています。

業種別に見ると、建設業では、若者の現場離れなどによる職人不足や外注比率の増加に伴う経費負担増、製造業では、技術者やデジタル対応人材の育成や確保、最低賃金上昇に伴うパートタイムの労働時間数の減少、小売業・サービス業では、学生アルバイトの不足など、業種ごとに多様な人材が不足している状況がうかがえました。

また、人材確保のための継続的な求人広告の掲載費用や、待遇を上げるための経費負担増などが、経営を圧迫しているとの意見も出ています。

コロナ禍で大きな打撃を受けている中で、新たな経営環境の変化が次々と起きており、その影響が多くの小規模企業を苦しめています。価格転嫁が難しい小規模企業では、売上確保だけでなく、原価や

経費負担の増加への対応が大きな問題となっています。今後もこの変化は加速し、より厳しい状況が続くことが予想されます。

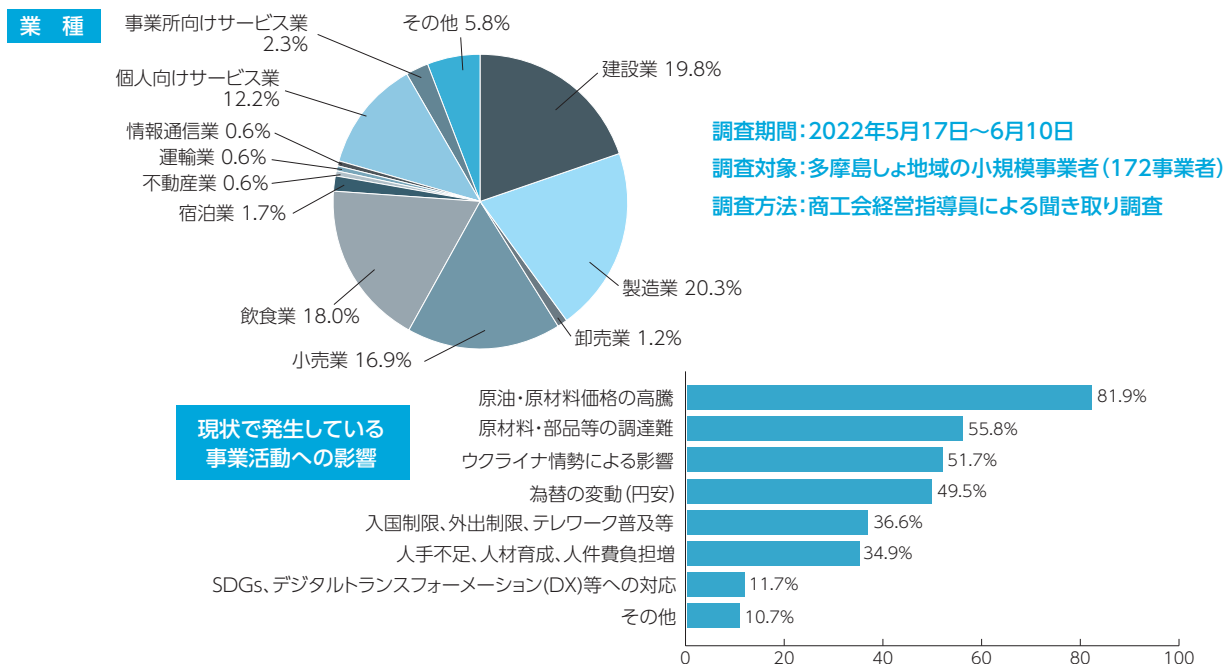
小規模企業には今、事業を継続し成長を実現するために、激変する経営環境の変化を捉えて事業を再構築するなどの変革が、求められています。



コロナウイルス感染拡大、ウクライナ情勢、為替変動、原油・燃料高騰 多摩・島しょ地域の小規模企業に影響を聞く

東京都商工会連合会 多摩・島しょ経営支援拠点

小規模企業を取り巻く経営環境は、2年以上にも及ぶ新型コロナウイルスの影響に加え、ロシアのウクライナ侵攻の緊迫化や円安などに伴う原油価格の高騰や資材調達難など、複合的な要因により激変し、大きな打撃と混乱の中にあります。東京都商工会連合会の多摩・島しょ経営支援拠点は、こうした経営環境変化が事業活動に与える影響の実態について、多摩・島しょ地域の小規模企業に聞き取り調査を行いました。



「価格の高騰」「原材料等の調達難」が事業活動に大きく影響

現在の事業活動に影響している内容を聞いたところ、「原油・原材料価格の高騰」が81.9%と最も多く影響しているという回答でした。次いで「原材料・部品等の調達難」55.8%、「ウクライナ情勢による影響」51.7%、「為替の変動(円安)」49.5%などとなっています。

全業種で「価格の高騰」が甚大な影響

○高騰しているもの

輸入材、木材、クロス材、セメント、金属、塩ビ製品、シンナー、アルミ、銅製品、電子部品、機械油、紙、ビニール、梱包材、綿、小麦粉、肉、電気代、ガソリン代、運搬費など

○現在の影響

- ・受注金額への価格転嫁が困難で利益率が悪化している(建設業)。
- ・価格は見積りに転嫁しているが受注しづらくなっている(製造業)。
- ・すべての原材料が値上がりし価格を上げざるを得ないが、客足が鈍ることを懸念(小売業)。
- ・燃料、材料の値上がりが急激で、価格転嫁するまでの時間に余裕がない(飲食業)。
- ・光熱費、設備価格に値上がりがあり、純利益を圧迫し始めている(サービス業)など。

○今後の見通し

- ・今後の見通しが立たない(建設業)。
- ・この状況が続けば値上げが必要だが、価格競争に負ければ売上すら確保できない(建設業)。
- ・適正な価格転嫁を行いたいが、それを上回るスピードで価格が高騰している(製造業)。
- ・値上げしないのでできる限り頑張りたいが、長期化すると厳しい(小売業)。
- ・簡単には価格転嫁できないため利益が圧迫される(サービス業)など。

「原油・原材料価格の高騰」の影響については、「ウクライナ情勢による影響」や「為替の変動(円安)」と回答した方の中でも多くの意見がありました。

業種別に見ると、建設業では、木材、クロス材、金属部品、セメントなど資材高騰の他、移動手段であるガソリン代や材料等の運搬費高騰の影響に対する意見が多く、中には現状で50%も材料費が上がっている例も出てきています。

製造業では、電子部品やアルミ・銅製品、梱包材料の高騰に加え、電気代や機械油などランニングコストの上昇が深刻な状況との意見がありました。

卸売業、小売業、飲食業、サービス業においても同様に、野菜・小麦等のあらゆる食材や国内外の商品の値上がり、配送費や電気代の負担増を訴える声が多く届いています。

村越政雄・篠原ひろし両氏の旭日小綬章受章

感謝の集いを開く



▲祝辞を述べる山下真一都連会長



▲村越名誉会長ご夫妻

今春の叙勲で、同時に「旭日小綬章」を受章した村越政雄東京都商工会連合会名誉会長（前会長）と、篠原ひろし元小金井市議会議長は7月20日、「感謝の集い」を小金井市で開きました。村越名誉会長が4歳年上ですが、小金井市で生まれ、お隣同士の家に育ち、ともに中学・高校を桐朋学園（国立市）で学んだ同窓生といった間柄。大学卒業後は村越名誉会長が家業を継いで実業の世界へ、篠原氏は35歳から36年間にわたって市議會議員を務めました。

今回、直接、小金井市および多摩地域の関係者の皆様に感謝の気持ち伝えるため、実行委員会（会長・山下真一東京都商工会連合会会長）をへて『集い』を開きました。

感謝の集いは、込山雄茂実行委員会委員（東京都商工会連合会副会長）が開会の挨拶をし、村越政雄夫妻、篠原ひろし夫妻が登壇して始まりました。司会の草野満代さん（フリーアナウンサー）がお二人の経歴を紹介しました。

祝辞では、最初に西岡真一郎小金井市長が「旭日小綬章の受章は小金井市の誇りであり名誉です」と受章を祝いました。また、山下真一会長は「村越名誉会長は、小金井市商工会長、東京都商工会連合会会長、全国商工会連合理事として中小企業の振興に尽力されました。商工会のビジョン作りや多摩観光推進協議会の設立にも力を注がれました。引き続きのご活躍をお願いいたします」と述べました。

桐朋学園の同期で、作家の嵐山光三郎氏は「高校時代の村越さんは純情無垢の熱血漢。今も、車、バイク、射撃、フィッシングなど多彩な趣味をお持ちです。007、イージーライダー、ゴルフ13、エジソン、清水次郎長を足して5で割ったような男です」と語って会場を沸かせました。

村越名誉会長は「本日はありがとうございます。皆様のお陰でこの栄誉をいただきました。先ほど、嵐山君からお褒めの話がありました。しかし、007やゴルフ13にはなれそうもありません。今は「老兵は死なず、消えるのみ」という気分。その辺にいたら声をかけていただければ」と笑顔で謝辞を述べました。

多摩地域商工会エリアの景況
4年度 第1・四半期 4~6月

中小企業 景況調査

仕入価格上昇が一番の問題に
まん延防止等重点措置解除で個人消費はやや回復

製造業

売上高前期比DIと資金繰りDIは悪化、採算期中DIは上昇。経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」から「原材料価格の上昇」に変わる。

小売業

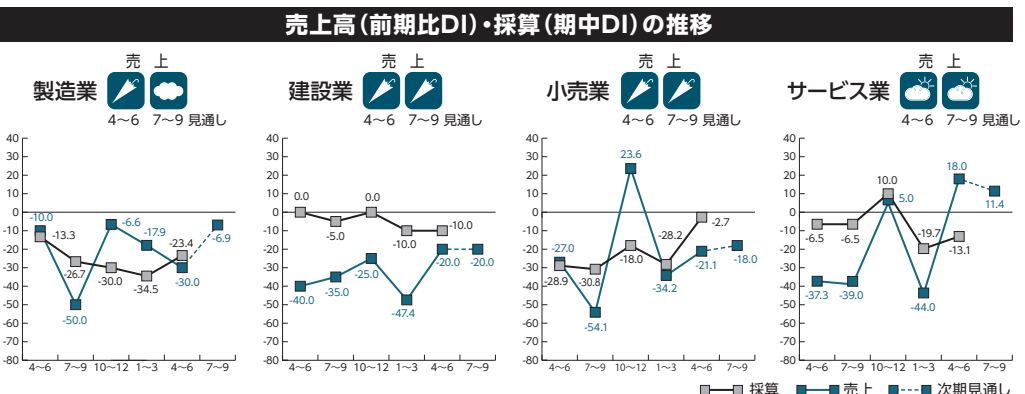
売上高前期比DI、採算期中DI、資金繰りDIのいずれも上昇。経営上の問題点の第1位は3期連続「仕入単価の上昇」。

建設業

売上高前期比DIと資金繰りDIは上昇。採算期中DIは横ばい。経営上の問題点の第1位は5期連続「材料価格の上昇」。

サービス業

売上高前期比DIが大きく改善、採算期中DI、資金繰りDIも上昇。経営上の問題点の第1位は「需要の停滞」と「利用者ニーズの変化」から「材料等仕入単価の上昇」に変わる。



調査企業の声

- *今後、海外からの原材料の高騰が予想される。売値に反映することで売上の減少を危惧している。(化粧品・歯磨き・その他の化粧品用調整品製造業)
- *エアコンなどの空調機器の入荷に時間がかかっている。中国のロックダウンの影響とみられる。(電気工業)
- *新型コロナウイルスの影響は少なくなった。金属の原価が高騰し商品価格に転嫁できていない。(ジュエリー製品小売業)
- *まん延防止措置が解除され、営業の制約がなくなったことや、人流が回復しつつあることから売上が回復しつつある。(酒場、ビヤホール)

注1. DI値(景気動向指数)のプラスは好転、マイナスは悪化とみる。
注2. DIマーク ※:+30~ ※:+10~+30 ◐:+10~-10 ◑:-10~-30 ◒:-30~-
注3. サンプルは多摩地域150企業原数値採用。
注4. 採算は当期中の「好転」-「悪化」のDI値

10・11月 多摩・島しょ地域のイベント

EVENT GUIDE

中止あるいは延期されることもあります。
念のため、主催者に日にち・会場などをご確認の上、お出かけください。

日程	イベント名	会場	主催者・問い合わせ先
10月 1(土)～ 12月3日(土)	大島町 オータムフェア ロケイング/オリエンテーリング/ジオパーク展	島内全域	大島観光協会(04992-2-2177)
3(月)	小平市 小平商工会サービス業まつり 演芸大会	ルネこだいら	小平産業まつり実行委員会・小平商工会(042-344-2311)
8(土)～9(日)	調布市 第67回 調布市商工まつり 飲食・物販会場(調布市庁舎前広場)/催事会場(調布市庁舎前特設ステージ)/PR展示会場(調布市文化会館たづくりむらさきホール)	調布市庁前広場/調布市文化会館 たづくりむらさきホール	調布市商工会(042-485-2211)
22(土)～ 23(日)	稲城市 第21回「のまち いなぎ市民まつり びっくり市、工業展、建設業PRコーナー、稲城の太鼓判PRコーナー、農産物品評会、農産物直売、ステージイベントほか	稲城中央公園および総合体育館	共催:稲城市商工会(042-377-1696)
11月 1(火)～ 30(水)	三鷹市 第6回 三鷹まちゼミwith 親子まちゼミ 参加店が講師となり、少人数制の講座を開き、普段なかなか知ることができない専門的な知識や情報をお客様に伝えるイベント	まちゼミ参加店 ほか	三鷹商工会(0422-49-3111)
12(土)～ 13(日)	小平市 小平市産業まつり 産業まつり(市内産業PR・展示など)	小平市役所立体駐車場周辺ほか	小平市産業まつり実行委員会・小平商工会(042-344-2311)
12(土)～ 13(日)	武蔵村山市 第15回 村山デグラまつり デグラポッチ山車の展示、ステージイベント、飲食展示販売等を行う	武蔵村山市榎1丁目市有地	武蔵村山市民まつり実行委員会(事務局:武蔵村山市役所産業観光課内 042-565-1111)
13(日)	狛江市 第46回 狛江市民まつり 商工祭、農業者祭、文化祭などの店舗出店や催事、パレードなど	狛江市役所市民広場 ほか	第46回 狛江市民まつり実行委員会(狛江市役所内:03-3430-1111)
18(金)～ 12月18日(日)	昭島市 第52回 昭島市産業まつり 産業まつりを通じて昭島市の産業(商工建設)を体感してもらおう。スタンブラリーをメイン事業にリアリティイベントとデジタルを融合	市内全域	昭島市(産業活性化課:042-544-4134)

リーダー研修会 in三宅島 都女連

東京都商工会女性部連合会(佐藤和美会長)は、6月22日～24日の3日間、令和4年度のリーダー研修会を三宅島で行いました。理事14人が参加しました。

東京・竹芝埠頭から「さるびあ丸」に乗り、23日朝三宅島に到着。午後は交流センターで三宅村商工会女性部と「災害復興と地域づくり」をテーマに意見交換会を開きました。村上康三宅村商工会事務局長がこれまでの「復興の道のり」について詳しく説明し、沖山厚子女性部長が「帰島後の女性部事業」について語りました。

避難中に商工会が行ったきめ細かな支援や、帰島後の復興に向けた女性部の活動などに、都女連の各理事は真剣に耳を傾けていました。参加した理事からは「三宅村商工会女性部の芯の強さと柔軟さを感じた」などの感想が聞かれました。



三宅島・三宅池港で三宅村商工会女性部の大歓迎を受ける都女連リーダー(後方はさるびあ丸)

多摩・島しょ酒蔵ステーション2022

多摩地域の5駅でお酒を販売 都商工連



▲若い女性も島の焼酎に興味津々

東京都商工会連合会(都商工連)は、多摩島嶼地域での広域需要開拓支援事業の一環として、アンテナショップ「多摩・島しょ酒蔵(さかぐら)ステーション2022」を7月から8月にかけて開催しました。多摩・島

しょの酒造メーカーがつくる日本酒、焼酎、クラフトビールなど、有名な酒、聞いたことがある酒、まったく初めて出会う酒など、多数の酒を集め、左党の皆様の夏を豊かに彩ろうという試みです。都商工連が主催し、多摩観光推進協議会、東京都酒造組合が協力しました。

今回は、立川駅グランデュオ1F立川デイリーパーツ前、国立駅南北通路、国分寺駅セレオ国分寺前、武蔵小金井駅 nonowaEAST Rail-marcheモノ+コト、武蔵境駅南北通路の5カ所で行われました。島嶼地域の焼酎や、クラフトビールなどが注目されました。また、多摩地域の蔵元は芳醇な清酒、端麗な清酒などお客様の趣向に合わせた清酒を出品し、その味わいを競っていました。

熱演する峯岸さん(国立市商工会)



最優秀賞に峯岸さん(国立市商工会)

青年経営者の主張大会

東京都商工会青年部連合会(都青連)は7月3日、令和4年度の「青年経営者の主張大会」を立川市のホテルで開きました。多摩・島しょの商工会から代表17人が参加しました。

その結果、最優秀賞に峯岸成禎(まさよし)さん(国立市商工会)が、優秀賞に坂本祐人さん(日野市商工会)が、優良賞に杉本崇さん(武蔵村山市商工会)がそれぞれ選ばれました。また、特別賞に浅野雄太さん(昭島市商工会)が選ばれました。最優秀賞の峯岸さんは、9月13日に新潟県長岡市で開かれる関東ブロックの主張大会に出場します。

遠藤百合子さんが熱演

(小金井市商工会女性部長)

関東ブロック商工会女性部交流研修会・主張発表大会



▲遠藤小金井市商工会女性部長が「小金井桜でさくら染め」を発表

令和4年度の関東ブロック商工会女性部交流研修会が7月6、7の両日、山梨県・富士河口湖町の「河口湖ステラシアター」で11の都・県連から女性部会員約1,000人が参加して開かれました。東京都商工会女性部連合会(都女連)からは、佐藤和美会長ら72人が参加しました。

主張発表大会には、都女連から遠藤百合子小金井市商工会女性部長が出演、「女性部活動と地域振興・まちづくり/小金井桜でさくら染め」というテーマで発表しました。



コロナ以前の日常に
そのまま戻るとは思えない。
なにか方策を考えないといけない

いろいろ焼 貯水池鳥山
三代目店主 小嶋 一晃 氏

多摩おこし・島おこし 東大和市

この人に聞く

No.31

—モノレールの上北台駅から車で7～8分。とても静かですね。

店名にあるようにすぐそばに村山貯水池(多摩湖)があります。狭山丘陵の豊かな自然に囲まれ、四季折々に趣があります。夏場には、お客様から「涼しいね」といわれます。森と湖のおかげでしょうか、いくらか気温が低いようにも感じられます。広さは約1,500坪。その中に離れ家の個室が20室ほど点在しています。お客様の数に合わせ大・中・小の3つのタイプがあり、座敷、掘こたつ、椅子のお部屋がお好みで選べます。どの部屋にも囲炉裏があります。

昔は常連が多く「おじいさんに連れてきてもらった」とか「父の誕生日はいつもココ」など、お客様と地域との密着度が高かったのですが、最近は「ホームページを見て」とか、「旅行の帰りに寄りました」などという声も聞かれるようになりました。

—開業されたのはいつですか。

1964年です。私の祖父が40代のころです。父が2代目、私が3代目になります。今は、いろいろな食材を使いますが、昔は鳥が圧倒的に多かった。八王子の鎌田鳥山というお店が鳥料理で有名でしたので、「鳥山」を使わせていただきました。今でも、一番というか、必ずといっていいほどご注文いただくのが「鳥山からあげ」です。半身の鶏を鶏の油の中で調理します。鶏油がコーティングの役目をして旨味が逃げないのが特徴です。皆様に「おいしい」と言ってもらっています。

—3代にわたっての事業承継はスムーズでしたか？

父は元気で今も一緒に働いています。一時期、有限会社にしたこともありましたが、父はどちらかという職人肌で仕事一途な性格。事務仕事などは苦手だったと思います。それで、私が社長というわけでした。しかし、会社組織が私どもの業態に合うか?というところでもない。ということで、元の個人事業になりました。私は従業員から法人の時の名残で「社長」と呼ばれていますが社長ではありません。ちなみに代表は父がやっています。順調ですよ。

—コロナ禍で、飲食業が大きな影響を受けています。今が変化の時と捉えていますか？

平日の昼間にご近所(といっても東大和だけではなく、武蔵村山、東村山、所沢も入りますが)奥様方のグループが、当店のランチタイムに集まり、最近は、離れの個室が貸切り状態になっています。大変ありがたいのですが、それが夜につながらない。コロナ禍がもう少し沈静化して、コロナ前の日常に戻ればいいと思っています。ただ、そのまま戻るといって単純ではないですね。夜、外で飲むということが基本的に少なくなってきています。家飲みでOKだと。コロナ禍が習慣を変えたと言っていると思います。

その上、ウクライナへのロシアの侵攻により、穀物をはじめ、食料品、燃料などが高騰しています。長引くと影響が大き

くなりそうです。

なんとか、踏ん張っていますが、これからは何か別の方策を真剣に考えなくてはと本気で思っています。

—どんな打開策をお考えですか？

すでに実施しているのですが、空いているスペースを活用して敷地内で他の事業者が利用時間3時間の「デイキャンプ施設」の運用を始めました。事業者サイドからのオファーで実現しました。こちらからは食事を提供しています。WIN-WINの関係になればと、期待しています。

また、今後は全室がお客様で埋まることは少ないと見て、空き部屋を利用して、いわゆるテレワーク施設にできないかと検討しています。IT事業者が集まって「貯水池サミット」などが開けるといいなと勝手に考えています。あるいは、絵や小物、アクセサリなどを売る小さな店が並んだプチ商店街などもいいかもしれません。いずれも空想の域を出ないですが、とにかく急がなくてははいけません。

—東大和市商工会は、小嶋さんにとってどのような存在ですか？

気軽に、かつ結構難しいことを親身になって聞いてくださる、私にとって頼りがいのある駆け込み寺です。いろいろな活動でお声をかけていただいていますし、それが契機となって今もつながっている友人もできました。私どもの仕事はなかなか横のつながりを作るのが難しいですが、商工会は事業の垣根を越えた新しい関係作りには欠かせない存在です。東京都の協力金などで、支援をしていただくこともあり、仲間というより家族同然のお付き合いをさせてもらっています。

お休み処▶



◀第9回東やまと市
まちフォトコンテスト
最優秀賞の
「多摩湖マジックアワー」
(堀川 真弓氏撮影)

〒207-0032 東京都東大和市蔵敷1-391
TEL : 042-561-3078 (木曜定休)
URL : <https://toriyama.owst.jp>

(表紙参照)



親子で楽しめる場所を提供していきたい。
ウッドデッキがあって、芝生があって露天風呂があって、
焚き火やバーベキューもできる。
みんなが遊べる場所をつくる。



大島町波浮港 しまとあお
代表 吉本 浩二 氏

吉本浩二さんは大島の南部にある波浮港の生まれ。東京のメンズアパレルメーカーのデザイナーとして10年ほど勤務したのち、家族とともに大島にUターンした。メンズアパレルは、年によってデザインが大きく変わるわけでもなく、上司からは「似たようなものを作ってくればよい」と言われたことが辞めるきっかけになったという。心機一転。島での再スタートを決めた。

まずは事業を統合する組織として「しまとあお」を立ち上げた。最初に始めたのは「青とサイダー」というゲストハウス事業。売りに出されていた家屋を買い、2019年3月に2部屋のゲストハウスを作りスタートした。素泊まりか自炊が基本だ。大島は自転車のロードレースが数多く開かれており、レース開催時は宿泊設備が不足気味となる。宿泊設備が少ない波浮港周辺では成功すると踏んだ。「青とサイダー」いうネーミングは、東京～仙台間をサイクリングした時に「青空の下で飲んだサイダーがすごくおいしいと思えた」から。しかし、開業直後の9月に風で屋根が吹き飛ばされるなどの大きな被害を受けた。以降はほとんどまともな営業ができていない。

もう一つの事業は、まるで降って沸いたような状況の中で起きた。波浮港の周辺でも数少なかった酒や食品を扱う酒屋「高林商店」が、9月に、やはり屋根が飛ぶなどの壊滅的な被害を負った。経営者は女性で、かつ70歳と高齢だったこともあって、被害状況を見て再起する気力も失ったという。高林商店は高台の上の山地域では唯一の商店。明治時代から続く店であり、地域の交流の場でもあった。「店が無くなるなら私がやろう」と吉本さんが店の存続を担うことになった。ただ、その後はコロナ禍の中でほぼ開店休業状況が続いた。

しかし、こんな逆境の中でも、吉本さんは、それほど悲観的にはなっていない。ムードメーカーであり、島での新しいライフスタイルの提唱者でもある吉本さんには、たくさんの友人がいる。彼らには伊豆大島を盛り上げていこうという情熱がある。クラウドファンディングでも多くの支援が集まっているという。壊れたゲストハウスや高林商店もほぼ復旧し、高林商店では次に向けた動きが着々と進んでいる。

手弁当で建築作業を手伝ってくれる友人と一緒に高林商店の中に作ったのが「角打ち（立ち飲み）スペース」だ。屋根や壁などをほとんど取り払った板張りの部屋。10数人は入りそうだ。今後、ちよい飲みや、腰を落ち着けての少人数の飲み会（テーブル席もあり）で賑わうだろう。19時以降は

人通りがなくなるという大島の夜は、今年の夏以降どんなふうに変化するのか？興味深い。

今、高林商店の地下部分ではゲストハウスを作っている。また、庭に芝を張り、ウッドデッキを作り、焚き火でバーベキューができるスペースも設けた。露天風呂の建設にも着手している。「昔はこの地域にも親子が遊べる公園があった。小さいかもしれないが、作っていきたい」と語る。また、「事業を成功に導いて、魅力ある就職先として若者を雇用していきたい」と将来の夢にも触れた。

現在「青とサイダー」と「高林商店」は、「しまとあお」を構成するメンバーという形を取っている。「近い将来、法人化したい」と吉本さん。その時に備え、事業の拡充を図っていく方針だ。

その相談役としての役割を「是非、商工会にお願いしたい」という。吉本さんは「こんなことを聞いてもいいのか？」ということを商工会は親身になって聞いてくれる。こんな心強いことはない」と言う。

とりあえず次の夢は？と聞くと「クラフトビールを作りたい!!」だった。



▲高林商店内の角打ちスペース



▶
高林商店の庭に建設中の
ウッドデッキと
焚き火バーベキュースペース

〒100-0212
東京都大島町波浮港4
TEL:090-4919-1981
mail:info@aotocider.com



新製品・新事業への挑戦で、さらなる飛躍を!

わが社の

経営革新計画 PART2 No.27

さまざまな用途・分野で
汎用的に使える
一体型の標準装備
気象観測機器の開発



株式会社
フィールドプロ

代表取締役
三上正洋氏
(東村山市商工会会員)

▲パラグライダーでスイス・インターラーケンの空を翔ぶ

1993年までは、研究者を対象とした超低消費電力の気象センサーや、気象観測用データ記録計、地震計測用データ記録計などを開発してきました。これらを事業化するため1994年に気象観測機器の開発・製造・販売を行う会社「ティーアンドエフ(旧社名)」を設立しました。30歳の時です。その後も大学や研究機関などの顧客向けにカスタマイズした特注品を提供してきました。つまり研究用のニッチ市場をターゲットとした販売・マーケティングを行ってきたといえます。

システム需要の増加と測定値の公的な保証

2008年にティーアンドエフは「フィールドプロ」に社名変更しました。気象用センサーや観測データを格納するデータロガー、観測データ転送機器など単品製品の開発と製造を行うとともに、単品製品を組み合わせて観測機器とするシステム製品にも参入しました。

システム製品は、風向風速観測装置や、総合気象観測装置のように風向風

速だけでなく、温度・湿度・日射・雨量など、顧客の要望に応じてセンサーを追加する観測装置であり、データ転送機器、電源機器などのオプションがあります。また、太陽電池メーカーや太陽電池の施工会社から、気象データ観測と併用して、発電電力などのデータを取得するシステムの需要も増加しています。

地球温暖化の影響で、気象変動などによる災害が増え、災害リスクを回避するため気象情報を得ようとするニーズが官民を問わず高まってきました。このため、測定値には公的な保証が求められるようになってきています。ここでいう保証は「実用機器ではなく、標準器としての精度」のことです。

再生可能エネルギーの気象観測・IoT気象観測システム分野への期待

近年、太陽光発電や風力発電など再生可能エネルギーの普及が進んでいますが、その技術の進展とともに、それらの動きを正確に計測するニーズが再浮上してきています。コロナ収束が予想される2022年後半からは、それまで停滞していた設備投資が再開し、インフラ整備も始まると推測できます。一方で、インターネットをデータ伝送に活用した低コストのIoT気象観測システムが増え、事業化が順調に進みつつあるのを見て取れます。

そこで、当社は2020年後半にIoT気象観測システム分野にターゲットを絞り、現在までに開発してきた機器を組み合わせて、新たな市場に販売促進を掛けており、さらに2022年からは、低コストのIoT気象専用機器の開発も行っています。

2020年のIoT気象観測システムの市場への参入を目指すとともに、東京都の経営革新計画の承認を目指すことを決めました。作成した経営計画が承認されれば、計画の新規性や有用性が認められたことになり、また、全社員が一つの方向性をもって仕事にまい進できます。承認により、補助金などの申請でも優位になるなどのメリットもあります。

経営革新計画を策定することになったもう一つのきっかけは、気象観測のニーズが「観測して発表する」という使い方だけではなく、取得した気象データを積極的に利用する「あるいは、事業に必要な気象情報をより詳しく」という使い方が国や地方自治体だけでなく、様々な事業分野から出てきたことにあります。

一体型標準装備気象観測機器を開発

経営革新計画として策定した新事業の概要を次のようにまとめました。新事業として開発するのは、温度、湿度、風向、風速、気圧の各センサーを一つの筐体の中に収めた「一体型標準装備気象観測機器」です。温度、湿度、風向、風速、気圧の5つの測定を行うセンサーのうち、気圧センサーは新たに開発します。それ以外のセンサーも一体化に向けて最適化を行います。一体化することによって発生する乱流や熱伝搬の乱れなどによる誤差を、筐体の構造やプログラムで補正し、個々に取得した気象庁検定の精度を維持するようにします。

太陽光パネルと蓄電池による電力供給で、常に無電源で運用可能で、長期間雨が続く災害時でも動きます。取得

したデータは、LPWA(Low Power Wide Area)またはLTE回線でデータ伝送されます。データロガーに記録しながらデータ伝送することも可能です。

開発終了後は、量産のための生産技術開発を行い、個々の製品に対して気象庁検定を取得します。同時に営業活動を開始します。新たに公共機関やインフラに関わる政府、自治体をはじめ、交通、運輸、電気通信、医療、教育事業者などグローバル市場の顧客を開拓し、販売していきます。

お蔭様で、2021年9月に本計画は承認されました。本開発事業では、得られる気象情報が様々な用途や分野で汎用的に利用できる製品とします。研究用だけではなく、独自に気象情報を取得し広く活用したいと考える事業者向けのグローバル市場をターゲットとした製品となることにも期待しています。既存顧客だけでなく、新規の顧客が新たに生まれることによって、今後、求められる気象観測機器の仕様や数量・価格などにも変化が起る可能性があります。



▲製品品質検査の様子

住所: 〒189-0001
東京都東村山市秋津町5-2-15
TEL: 042-391-7850
URL: <https://fieldpro.jp/>